

令和3年度決算審査特別委員会 Q&A

9月13日、14日の2日間、令和3年度の町の予算が適正に執行されているか、行政効果を確認し評価を行う決算審査特別委員会を開催したので、質疑の一部を要約して掲載する。



総務費

災害用備蓄品整備事業について

Q 災害用備蓄品に液体ミルクの導入の検討状況は。

A 賞味期限が延びた商品が出たことから、粉ミルクの更新に併せて一部を液体ミルクに置き換えていく事を検討している。

衆議院議員選挙執行事務事業について

Q 投票所の土足入場のための対応は進んでいるのか。

A 試行的に実施している市町の状態を聞きながら、検討を引き続き進めていく。

庁舎維持管理事業について

Q 庁舎外回りの管理はどのような手法で計画をもっているのか。

A 草刈りは、最低年一回実施。周辺の芝桜のところは、近年は中札内高等養護学校の作業の一環として生徒さんの協力を得て行っている。

民生費

ひきこもりサポート事業について

Q 相談件数116件に対し利用実績は。一度で利用を止めた方がいるのか、また、グループ等で研修等が行われたのか。

A 19人から相談を受けていて、複数回利用している。個別の相談なのでグループでの対応はとっていないが、相談後に関係する方が一緒の場所で話し合いをする事業がある。

学童保育所運営事業について

Q 学童保育所でのスワディ号の利用は。

A 毎年定期的な購入または更新で一定数の図書を保有しているが、スワディ号のニーズについて把握に務め、必要であれば検討していきたい。

へき地保育所運営事業について

Q へき地保育所を継続していくための基準は。

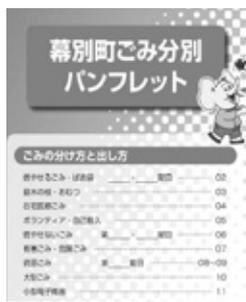
A 5人以上を通常の運営の人数の基準であり、5人以下が見込まれるときは、保護者含め地域の方との協議、検討している。

衛生費

ごみ収集運搬処理事業について

Q ごみ分別冊子をリニューアルしたが、スマホを活用したシステムの導入については。

A 先進自治体が活用していることは把握している。まずは分別に関する意識づけが大切であり、引き続き啓発していきたい。スマホの活用などの手法については、今後の改正時に検討していきたい。



Q 集団資源回収協力交付金について、いくつか決まった資源を公区などの団体が集めて交付金を受領する制度だが、町の処理費の軽減にもつながるので広めていく考えは。

A 広報等を含めて、いろいろな場面で資源回収の協力をお願いしていきたい。

